

第 6 章

保健教育の研究

保健教育※

I 研究概要

II 実践報告

III 研究のまとめ

- 1 研究の成果
- 2 今後の課題

IV 資料

資料1…「こころとからだの学習(つながりの分かる)計画」

資料2…2月のシナリオ

資料3…2月の体操

V 引用・参考文献

※今まで教科等を分類する用語であった「保健学習」「保健指導」は、平成28年12月21日の中央教育審議会答申の内容を踏まえ、「保健教育」という用語でひとくくりにするようになった。新学習指導要領で示された用語である。

I 研究概要

「本校を卒業する生徒は全員プライベートゾーンを理解して卒業してほしい。」という思いから始まった「こころとからだの学習」は、取り組みを始めて6年目となった。月1回の発育測定前に養護教諭が行っている保健教育の時間がそれである。この時間は本校に通う子どもたちが見通しをもって安心して参加できるよう、また、限られた時間の中で、記憶に残るよう、「始まりの歌→先月の振り返り→今月のお話→今月の体操→お話の巻き戻し→おしまいの歌」という流れで構成している。

毎回の「今月のお話」の内容については、「恥ずかしいこと」「隠すべきこと」を伝えるのではなく、繰り返し学ぶことで子どもたちが「楽しい、おもしろい、役に立つ」という気持ちになるよう、数の学びと合わせることで、その印象が深まるように考えている。例えば4月は、「4月になりました。今日は、4月の4という数字から、私たちの体の中にある4つあるところのお話をしましょう。」という言葉が、「今月のお話」の最初に出てくるお決まりのフレーズとなっていて、5月は私たちの体の中にある5つあるところのお話、というように月の数と私たちの体の部位をつなげていく。そして、「今月の体操」では、お話の内容を頭で覚えるだけでなく、体を使って覚えるような動きや自分の体に自分で触れてボディイメージを高められるように構成している。

令和5年3月性犯罪・性暴力対策のための関係府省会議（内閣府、警察庁、法務省、文部科学省、厚生労働省）にて「性犯罪・性暴力対策の更なる強化の方針」が決定され、学校現場においては、「生命（いのち）の安全教育」に積極的に取り組むよう、通知が発出されている。また、文部科学省と内閣府が連携して作成した『「生命（いのち）の安全教育」指導の手引き』のなかで、特別支援学校においては、障害の状況等を考慮し、指導内容や指導方法を工夫することが必要であると述べられている。

本校で取り組んでいる「体の部位と数」をつなげる「今月のお話」と「今月の体操」は、体の部位や働きへの関心を高め、子どもたち自ら学びに向かう姿を引き出すことができしており、そのことは、昨年度の本校の研究集録において報告した。しかし、体の部位とその働きを覚えることが「こころとからだの学習」になるのだろうかという点においては課題として残っていた。今年度は、1年間で取り上げる体の部位と「こころとからだの学習」とのつながりについて考えてみることにした。

また、「今月の体操」はすべてオリジナルのものであるが、体操を作るうえで工夫した点を2月の体操を例に報告する。

II 実践報告

1 取り上げる体の部位と「こころとからだの学習」のつながり

「こころとからだの学習」では、体の部位や名前だったり、その役割を説明したりという場面が必ずある。具体的には、第二性徴、月経、精通のことを子どもたちに話すときには、精巣や卵巣という部位の名前や働きについて伝えることになるであろうし、男女の違いや関係について話すときには、脳の働きも説明することになるであろう。また、性被害にあわないために、自分で守るべき体の部位を知っておかなければならないし、それは、性加害者にならないためにも必要な知識となる。どのような体の部位を覚えれば、「こころとからだの学習」につながっていくのだろうか。取り上げる部位とその部位をどのように考えると「こころとからだの学習」の項目につながっていくのかを表1にまとめた。つながりのある項目は資料1「こころとからだの学習（つながりの分かる）計画」の項目を参照。資料1「こ

ころとからだの学習（つながりの分かる）計画」は、生活の展開として上から下へ「自分」「人とのつながり」「家庭・社会」の3つに分かれ、発達段階として左から右へ3段階に分かれている。それぞれの発達段階において予想される課題を整理し、「ころとからだの学習」の全体が見えるようにしたもので、つながりのある項目を矢印で示している。

2 2月の体操について

2月の体操は、「にっこりぼん」という体操を考えた。

グー、チョキ、パーのどれかを同時に出す手遊びの「じゃんけん」を要素に、体の中にある二つあるところを選んで触れる、又はその部位にちなんだポーズを作って体を動かす体操である。全身を動かしながら体の部位と名前を覚えたり、ボディイメージを高めたりすることを目的としている。

体の中の二つあるところは、体の外側であれば、例えば目や耳、肩など3つ選ぶ。体の内側については11月に行った内臓の話に触れながら、肺と腎臓を思い出させるようにするとともに精巣と卵巣を取り上げる。板書例と資料2の2月のシナリオを参照。

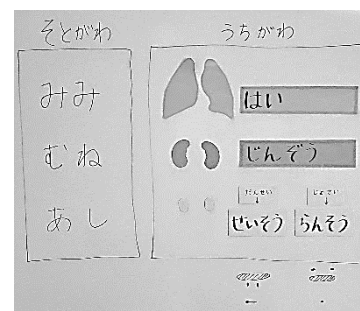
二つあるところを体の外側と内側で取り上げたのは、小学部1年生から高等部3年生までの子どもたちがそれぞれの発達段階において楽しむことができるようにするためである。

3 体操作りで工夫した点①

「にっこりぼんシール」を用意して、みんなの前で体操をしてくれた子どもたちに渡し、その場で胸元に貼ってもらうことにした。「私が貼りますか？自分で貼りますか？」と尋ね、どちらにするかを選んでもらった。胸元というプライベートゾーンに近い部分を意識して、称賛される特別な状況下でも子どもたちが落ち着いて、自分以外の人自分の体に触れることについてどう選択するか考える機会を作ったからである。留意点としては、①自分で決めることに多少時間がかかっても、待つこと、②自分で貼ることを選んだ児童生徒には、自分で考えて決めたことを称賛すること、③先生に貼ってもらうことを決めた児童生徒には、「イヤなタッチ」にならないよう配慮していることが伝わるように声をかけながら丁寧に貼ってあげることが意識した。

4 体操作りで工夫した点②

「じゃんけん」のグー、チョキ、パーには強い、弱いがあり、勝ち負けを決める遊びでもある。「ころとからだの学習」では、優劣のない、一人一人を大切にしたい体操に変容させなければならない。一人一人が大切にされ、一人一人が違っていていいということを伝えるためには、「にっこりぼんシール」を自分で貼るか、自分以外の人に貼ってもらうかを決めるのと同じように、「にっこりぼん」体操でもどこに触れて、あるいはどのポーズを作るかを自分で決めることができたら、それを称賛するべきであると考えた。勝った、負けた、あいこで終わりにするのではなく、「私が選んだ場所は△△でした。そして、○○さんが選んだ場所は□□でした。」というように一人一人の意思を認めて体操を終わらせた。



板書例



にっこりボンシール



私が貼ってもいいですか？
それとも自分で貼りますか？

Ⅲ 研究のまとめ

1 研究の成果

(1) 取り上げる部位と「こころとからだの学習」のつながり

資料1「こころとからだの学習（つながりの分かる）計画」の左上（自分）・（第一段階）にある「体の部位の名前と働き」の矢印は、中央上（自分）・（第二段階）の「体調のコントロール」、「心の変化」、「性意識」にしか届いていないが、表1にまとめてみると、計画の上下横へと数多くの項目につながると考えられる。数で表すと全体の項目が52項目あるのだが、そのうちの26項目へのつながりがあり、全体の50%にあたる。したがって、本校で取り組んでいる「今月のお話」と「今月の体操」は体の部位の名前と働きを覚えるだけにとどまらず、「こころとからだの学習」において、生活の展開や発達の段階が進む過程においても役立つ可能性のある取り組みではないかと考えられる。

(2) 2月の体操について

子どもたちは、一人一人がにっこりぼんシールの受け取り方を考えていた。にっこりぼんシールを嬉しそうに自分でつけたり、貼ってもらったりする様子から、自分以外の人や体が触れることについて一人一人が自分にふさわしい答えを選択できたのではないかと考えられる。また、「にっこりぼん」体操をみんなの前でやってくれる人を募ると、子どもたち全員が前に出てくるほど積極的に参加する学部があった。一人一人が違った選択をしてよいということが伝わり、安心して取り組むことができたのではないかと考えられる。

2 今後の課題

月に一回の保健教育の中で取り上げている部位と「こころとからだの学習」のつながりが明確になったので、次は、つながった先の項目の保健教育からみて、「毎月のお話」と「毎月の体操」がどのように役に立つのかを考えてみたい。体操作りでは、検討の際、どうやって「にっこりぼん」体操を終わりにするかというところで「じゃんけん」の要素が残ってしまった。先生と子どもたちが同じ体の部位を選んだら、つまり「あいこ」になったらシールをもらって、終わりにしようと考えてしまったのだ。「あいこ」なら、強い弱いにならないし、別の部位を選んだ場合は、シールをあてにしてまた参加してもらいたいという意図があった。しかし、何度やっても「あいこ」にならなかつたらどうなるか。シールがもらえた、もらえなかった、の優劣が最終的に生じてしまう。先生と同じなら○、違っていたら×となつてしまつたら、一人一人が大切にされ、一人一人が違っていいということは伝わらない。「じゃんけん」とはこういうものだという先入観から、本来子どもたちに伝えたいこととは違った展開になるところであった。今後は、先入観をもたないように意識するとともに、より一層慎重に体操作りに取り組むようにしていきたい。「今月のお話」と「今月の体操」は、全学部共通で、小学部1年生から入学した児童は、12年間繰り返すことになるため、子どもたちの表情や体の動き、友達や先生とのかかわりの様子を見極めながら、長く繰り返しても子どもたちが「楽しい、おもしろい、役に立つ」という気持ちで取り組めるよう、工夫をこらしていきたい。

表1 「保健教育で扱う体の部位」と「つながりのある項目」

月	部位	部位をどのように考えるか	つながりのある項目
4	手足	人は生まれてすぐは歩くことができない。 成長して二本の足で立つと、手は自由に動き、足は、 様々な場所へと体を運ぶ。	体の変化 好きなもの・こと 将来の夢
5	手指	たくさんの仕事ができる。自由に動くが、それゆえ、 間違っただけでもしてしまう（他害、自傷）。	手伝い 感情のコントロール
	足指	手の指に比べるとあまり動いていないような気がする。 しっかり体を支えて動くようにする。	感情のコントロール 体調のコントロール
6	目	左右上下、近くや遠くのものを見ることができる。 見る。見ない。 二つあるところ。	感情のコントロール 性情報 性的逸脱行為の回避 2月の保健教育
7	首の骨	脳をささえる。目の動きと連動する。 背中の骨の上にある。	9月・12月の保健教育
9	脳	人間らしい活動や考えを生み出す。言葉を発する。 耳から入った情報処理。目から入る情報や言葉を理 解する。光の情報処理。空間や物を見分ける。痛み を感じる。筋肉に運動の指令を出す。	感情のコントロール 体調のコントロール 心の変化、性意識 性情報、性行動 性的逸脱行為の回避
10	歯	こどもの歯からおとなの歯に生え変わる。	体の変化 おとなとこどもの違い
	指の腹	柔らかい。指先。	性器の洗い方、手伝い
11	内臓	目には見えない体の中であって、動いている。 肺と腎臓は左右に二つある。	12月・2月の保健教育
12	背中の骨	骨は、血液を作る仕事をしている。	血液（月経、勃起）
1	プライベート ゾーン	自分で守るところ。大切なところ。	性器の洗い方 性的逸脱行為の回避 男女の体の違い
2	精巣・卵巣	体の中の二つあるところ。	いのちの始まり 3月の保健教育
3	おしっこ いのちのもと うんちの 通り道	性別にかかわらず3つの通り道がある。 男性と女性では3つの通り道の仕組みが違う。	男女の体の違い いのちの始まり おなかの中の赤ちゃん 誕生 4月の保健教育
	プライベート ゾーン	自分で守るところ。大切なところ。 体の中とつながっている。	性的逸脱行為の回避

資料2 2月のシナリオ

はじまりの歌 おはなし おはなし はじまるよ どんな どんな はなしかな

先月の振り返り 2月になりました。2月の前の月は、1月。1月のお話を思い出してみましょう。1月は、「はな」(高等部、中学部)「あたま」(小学部)という字を「鼻」、「頭」で書きましたね。それから、「くち」も体の中で一つあるところですよと教えてくれたお友達がいて、そこはプライベートゾーンという別の名前がついているというお話をしました。プライベートゾーンという字は、まもるポーズで書きました。そして最後に書いたのは、「いのち」という字。それは、体全部で書きました。

今月のお話そして、1日1日過ぎていき、今日は、2月。私たちの体の中にある2つあるところのおはなしをしましょう。まずは、1月と同じように、皆さんが知っている2つあるところを教えてください。教えてくれるお友達はいませんか?「耳」耳は、体の外側にありますね。他にはありませんか?「肺」肺は、体の内側にありますね。他にはありませんか?「肩」。「膝」。からだの内側にもまだあるのですが…「肺」は、こんな形をしていましたね。それから、こんな形をしていたのは…「腎臓」ですね。そして、11月に内臓のお話をしましたが、その時のお話には出てこなかった2つあるところが、実は、体の中には、まだあるんです。それは、こんな形をしている内臓です。体の下の方にあるのですが、男性と女性で、違う名前がつきます。男性の丸いところは、精巣という名前がついています。女性の丸いところは、卵巣という名前がついています。そして、この丸い中で作られているものも男性と女性で違って、男性の精巣では、こんな形、女性の卵巣では、こんな形をしたものが作られています。今、ここに形を書いてみましたが、本当の大きさは、こちらは、針の先でちょっと刺したくらいで、こちらは、それよりもさらに小さい大きさです。それから、丸いところがある場所も男性と女性では違って男性の丸いところはおしっこを貯める膀胱の下の方、女性の丸いところはおしっこを貯める膀胱の上の方にあります。では、体の外側と内側にある2つあるところが3つずつそろいましたので、これを使って、今日の体操をしたいと思います。

今月の体操今日の体操は、「にっこりぼん」という体操です。まずは、体の外側の2つあるところを使って、〇〇さんと私でやってみます。「(ボディーパーカッション)にこにこ(耳さわる)にっこり(ピースサインを頬に向けてにっこり笑う)にこにこ(肩さわる)にこにこ(膝さわる)にっこり(ピースサインを頬に向けてにっこり笑う)にっこりぼん(耳肩膝のどれかさわる)」私が選んだ場所は△△でした。そして、〇〇さんが選んだ場所は□□でした。こんな風に最後の「にっこりぼん」のところで、3つの中から自分が選んだ場所を教えてください。では、前に出て一緒にやってくれる人!では、やってみましょう。「(ボディーパーカッション)にこにこ…にっこりぼん!」私が選んだ場所は△△でした。そして、〇〇さんが選んだ場所は□□でした。一緒に「にっこりぼん」体操をやってくれたので、にっこりぼんシールをプレゼントします。にっこりぼんシールはこんな風に渡します。「私が貼ってもいいですか?それとも自分で貼りますか?」はい、よくできました。さあ、次は、こちらの体の内側バージョンでやってみようと思いますが、肺はこんなポーズ、腎臓はこんなポーズ、精巣卵巣はこんなポーズでやってみようと思います。では、前に出て一緒にやってくれる人!では、やってみましょう。「(ボディーパーカッション)にこにこ…にっこりぼん!」私が選んだ場所は△△でした。そして、〇〇さんが選んだ場所は□□でした。一緒に「にっこりぼん」体操をやってくれたので、にっこりぼんシールをプレゼントします。私が貼ってもいいですか?それとも自分で貼りますか?はい、よくできました。

お話の巻き戻し今日は、「にっこりぼん」という体操をやって、にっこりぼんシールをプレゼントしたのですが、そのシールを相手がつけてもいいか、自分でつけるか自分で決めてもらいました。そして、おなかの下の方にあるこんな形をした内臓は、男性と女性では名前が違って、そこで作られるものも違って、ある場所にも違いがあるというお話をしました。そして、皆さんと一緒に体の内側と外側にある2つあるところを探しました。これで、今日のお話と体操はおしまいです。

おしまいの歌おはなし おはなし またこんど どんな どんな はなしかな

資料3 2月の体操

【からだの外側バージョン】



にこにこ
(目のポーズ)



にっこり



にこにこ
(耳のポーズ)



にこにこ
(膝のポーズ)



にっこり



にっこりポン
(自分で選んだポーズ)

【からだの内側バージョン】



にこにこ
(肺のポーズ)



にっこり



にこにこ
(腎臓のポーズ)



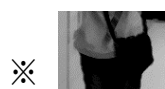
にこにこ
(精巣卵巣
のポーズ)



にっこり



にっこりポン
(自分で選んだポーズ)



※

ポシエットの中には「にっこりぽんシール」が入っている。

V 引用・参考文献

千住真理子.伊藤修毅.生活をゆたかにする性教育～障がいのある人たちとつくるところとからだの学習.
クリエイツかもがわ.2020.

浅井治夫.良香織.鶴田敦子.性教育はどうして必要なんだろう？包括的性教育をすすめるための50のQ
&A.大月書店 2018.

田代美江子.令和4年度埼玉大学附属幼稚園第3回すこやか親子(学校保健委員会)「みんなが大切にさ
れる社会をつくる！」講演資料.2022

研究集録 50.埼玉大学教育学部附属特別支援学校.2022